

第2次阿見町教育振興基本計画(素案)パブリックコメントの実施結果について

1 意見募集

- (1) 募集期間 令和4年12月23日(金曜日)から令和5年1月22日(日曜日)
- (2) 閲覧場所 町ホームページ、役場2階 情報公開コーナー、各公民館、ふれあいセンター、交流センター、図書館、予科練平和記念館
福祉センターまほろば、総合保健福祉会館 さわやかセンター、うずら出張所、町民活動センター
- (3) 募集結果 提出意見 2名13件

2 寄せられた意見に対する町の考え方

第2次阿見町教育振興基本計画(素案)に対し募集期間中に寄せられたご意見と町の考え方、対応について、次のとおりです。

No	頁・掲載箇所	ご意見の概要	町の考え方、対応
1	19頁 第1編 策定方針及び前提条件の整理 第3章 阿見町の現況 (9) 人口分布等や(10) まちづくりの状況 他	「荒川沖市街地」や「荒川本郷市街地」などの異なる表現があるが、統一した方が分かりやすい。	市街地の表記については、阿見町都市計画マスタープラン(平成28年3月策定)の位置づけに合わせて「荒川市街地」や「阿見市街地」、「南平台市街地」、「阿見吉原市街地」と記載していますが、第6次総合計画後期基本計画(平成31年3月)の土地利用ゾーニングの表記を踏まえて記載を下記のように変更します。 荒川沖駅周辺の市街地については「阿見西部地区(荒川沖市街地)」、「阿見中央地区(阿見市街地)」、「南平台地区(南平台市街地)」、「阿見吉原地区(阿見吉原市街地)」などと表記します。
2	41頁 第1編 策定方針及び前提条件の整理 第6章 後期基本計画の達成度 (4) 未実施などにより達成状況が不明な指標	「他者尊重・他者理解」に関して、全国学力・学習状況調査で把握していないのであれば、今後どのような方法で把握していくのか明記してほしい。	全国学力・学習状況調査の項目からなくなったため、未実施となっていました。今後は調査の実施状況に応じて指標の把握について検討したいと考えます。

3	<p>68 頁</p> <p>第3編 前期基本計画</p> <p>第1章 第2節</p> <p>具体的施策1 基礎・基本の確実な習得と活用する力の育成</p> <p>③基礎学力向上のための個に応じた指導法の改善</p> <p>主な事業「チームティーチング (TT) 講師配置」</p>	<p>茨城県の方針として TT 講師の制度が終了するため、別の内容を示した方がよい。</p>	<p>県「少人数教育充実プラン推進事業」で少人数学級とティーム・ティーチングによる県独自の少人数教育を小学校及び中学校で実施することとなっており、町の方針としても複式学級におけるデメリットの解消のため、変更しないこととします。</p>
4	<p>69 頁</p> <p>第3編 前期基本計画</p> <p>第1章 第2節</p> <p>具体的施策3 言語活動の充実(読書活動の充実)</p>	<p>言語活動の充実(読書活動の充実)が謳われており、その中身は「①多様な言語活動を取り入れた授業の展開」以降はほぼ図書館機能の充実と読書活動の推進となっているように読み取れる。</p> <p>蔵書を増やし、各図書館の連携を密にし、「みんなにすすめたい一冊の本事業」に参加する。より多くの本に触れるきっかけになると思うが、読書の量に気を取られすぎて、読書の質が保たれない恐れがあるのではないか。「確かな学び」のためであれば、発達段階に応じた読書の機会を提供する施策も示してほしい。</p>	<p>低学年から読書活動を通して思考力・判断力・表現力を養う授業や児童生徒の読書活動や学習活動を支援する学校図書館司書の配置、町立図書館と学校図書館の連携や機能の充実、強化など、様々な観点から読書活動の充実を図り、さらなる読書の質の向上に努めていきたいと考えます。</p>
5	<p>75 頁</p> <p>第3編 前期基本計画</p> <p>第1章 第3節</p> <p>具体的施策1 教員の資質向上</p> <p>①年齢や能力に合わせた教員研修の効果的な実施</p>	<p>「内地留学」の意味が読み取れない。長期研修や海外研修にした方がよいのではないか。</p>	<p>内地留学は、茨城県教育研修センターで行っている長期研修の内容です。派遣先は、茨城県教育研修センター、茨城大学、筑波大学、独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所などとなっています。</p> <p>ご意見を踏まえて、事業名、内容を修正します。</p>

	主な事業 2 内地留学・中央研修		
6	118 頁 第3編 前期基本計画 第4章 第1節 具体的施策 1 地域人材の積極的な活用 ①地域住民との交流促進 主な事業 2 学校運営協議会	「学校運営協議会事業」の「担当課」は学校教育課を追加するべきではないか。	学校運営協議会事業は、学校の抱える諸問題の解決や児童生徒の望ましい成長をより一層支援する学校教育にとって重要な事業であることから、生涯学習と連携を図りながら事業を推進していきますが、所管課が「生涯学習課」であることから担当課は変更しないこととします。
7	第1編 策定方針及び前提条件の整理 第4章 阿見町の教育の現況 ・24 頁 (4)学校再編の現状 など	「小規模特認校を導入」ではなく「小規模特認校制度を導入」と記載すべきではないか。	ご意見を踏まえ修正します。
8	・27 頁 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の概要（国）	「本計画は～、町民の生涯学習活動の推進を図ってきました。」は変更すべきではないか。	
9	第5章 町民ニーズの動向 ・29 頁 (1) 保護者へのアンケート結果の概要 ③学校生活について（問12）	「宿題」を「いつもする」71.4%（前回80.2%）～と前回から大きな変化はありません。と記載があるが、宿題をいつもすることという項目での8.8ポイントの減少は大きな変化ではないかと思う。	
10	・31 頁 (2) 教職員へのアンケート結果の概要 ①児童・生徒の様子、教育全般について	「(問4)学校に通うことを楽しい(中略)「多くの児童生徒が楽しいと感じている(71.2%)」と <u>感じている</u> と回答しています。」下線部は必要ないのではないか。	
11	32 頁 ③教員の資質向上について	教員の経験年数で見ると「20年未満(11.5%)」、「20年以上(7.5%)」などと経験年数が <u>多い</u> ほど～と記載があるが「経験年数が <u>少ない</u> ほど」ではないか。	

12	<p>第6章 後期基本計画の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40頁 <p>(2) 施策の評価</p> <p>表：具体的施策ごとの進捗度及び評価の一覧表</p>	<p>「<u>市民満足度</u>」とあるが「<u>町民満足度</u>」の方が馴染むと思う。</p>	
13	<ul style="list-style-type: none"> ・43頁 <p>2 後期基本計画の目標指標調査結果</p> <p>表：目標指標の一覧</p> <p>3章 社会全体での教育力の向上</p>	<p>「達人バンクの活用件数」という言葉だけではイメージがわきにくい。注釈があるとありがたい。</p>	